

竹中家歴代当主

「竹中重氏」を初代とする説もあるが、岩手の領主としての竹中家初代から、代を数えることとした。

また「元恭(ちかゆき)」についても当主に就かなかったとの説をとっている。さらに「竹中重固」以降についても、子孫の考え方に違いがあるものの、岩手における系譜を辿ることとした。

初代 重元

2代 重治(半兵衛)

3代 重門

4代 重常

5代 重高

6代 重長

7代 重榮(しげよし)

8代 元敏

9代 元儔(ちかかず)

10代 重寛

11代 重英

12代 重知

13代 重明(黄山)

14代 重固

15代 黄山(重明)

16代 重時

17代

18代

19代